



日比谷花壇 愛妻の日男の帰宅花作戦
「大切な人にきいろい花を贈ろう」キャンペーンを
1 月 11 日(金)から開催

映画「きいろいゾウ」× 日比谷花壇コラボレーション

～コラボステッカー、映画特別優待割引券を日比谷花壇店頭で配布～



株式会社日比谷花壇(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮島浩彰)は、夫婦の姿を通して、普遍なる大きな愛の形とふたりの人生をドラマティックに描いた感動のラブストーリー、映画「きいろいゾウ」(2013 年 2 月 2 日(土)全国ロードショー)とのコラボレーションにより、『大切な人にきいろい花を贈ろうキャンペーン』を、1 月 11 日(金)から愛妻の日の 1 月 31 日(木)の間、全国の日比谷花壇店舗で開催します。

これは、“1 月 31 日(愛妻の日)をきっかけに、言葉に出して言えない愛と感謝の気持ちを「花」とともに伝え、夫婦の絆を深めよう”と呼びかける日比谷花壇「愛妻の日 男の帰宅花作戦」の一環として行うキャンペーンです。映画「きいろいゾウ」とのコラボレーションにより、永遠の愛を花言葉にもつチューリップの花をはじめとして「きいろい花」を大切な人へ贈り、愛や感謝の気持ちを伝えようと、全国の日比谷花壇店頭で呼びかけます。また同キャンペーン期間中、花束を持って家路を急ぐ愛妻家と、きいろいゾウがツマを誘って映画館に急ぐ 2 つのシーンをイラストにしたコラボレーションステッカーと、同映画特別優待割引券を、全国の日比谷花壇店頭でプレゼントします。

愛妻の日とは、“妻というもっとも身近な存在を大切にする人が増えると世界はもう少し豊かで平和になるかもしれない”として、日本独自の文化かもしれない愛妻家というライフスタイルを世界に広めていこうと、日本愛妻家協会(<http://www.aisaika.org/>)が提唱している文化活動です。この象徴の日が、1 月 31 日の 1 をアルファベットの「アイ」、31 を「サイ」とかけた「愛妻の日」です。

当社は、花が、夫婦の絆を深める役割を果たすことができると考え、日本愛妻家協会が行う愛妻の日の活動に賛同し、“永遠の愛”を花言葉にもつ「チューリップ」を愛妻の日のテーマフラワーとしてこの男の帰宅花作戦の取組みを、2008 年から毎年展開しています。人と人との絆を改めて見つめ直し、お互いを大切にする想いが広がっている今日、喜びや感動をもたらすことができる“花”が夫婦のコミュニケーションのきっかけとなり、日本の、そして世界の夫婦の絆が深まるよう、この取組みを通じてサポートしていきます。

なお、映画「きいろいゾウ」とのコラボレーションにより、愛妻の日をきっかけに、夫婦だけの時間を楽しんで、絆を深めてもらいたいと、1 月 19 日(土)15 時から、都内試写室で、夫婦 25 組を招待し、「日比谷花壇 presents 映画「きいろいゾウ」夫婦 de 試写会」を開催します。(参加者募集は 1 月 6 日をもって締め切りました。)

大切な人にきいろい花を贈ろうキャンペーン 詳細:

<http://www.hibiyakadan.com/pr/kiroi-zou/> (1 月 11 日 UP 予定)



映画「きいろいゾウ」× 日比谷花壇 コラボレーションステッカー(表面)



映画「きいろいゾウ」

2 月 2 日(土)より全国ロードショー

原作:西 加奈子「きいろいゾウ」(小学館刊)

監督:廣木隆一

出演:宮崎あおい 向井理 ほか

(c)2013 西加奈子・小学館/「きいろいゾウ」製作委員会

配給:ショウゲート

別紙

◆映画「きいろいゾウ」について <http://www.kiiroizou.com/> (配給:ショウゲート)

出会ってすぐに結婚したツマとムコ。お互いの“秘密”を知らないまま、ふたりは一緒に暮らし始めた。結婚し初めて経験していく男女のつながり。社会の最も小さな形である夫婦の姿を通して、普遍なる大きな愛の形とふたりの人生をドラマティックに描いた感動のラブストーリー。宮崎あおい&向井理初共演作品。2月2日(土)全国ロードショー。

◆株式会社日比谷花壇について <http://www.hibiya.co.jp>

1872年創業。1950年に東京・日比谷公園に出店後、株式会社日比谷花壇設立。現在、全国に約180店舗を展開し、フラワーディスプレイ、フラワーギフトの企画・制作・販売、装花を伴うイベントのプロデュース等を行い、花と緑溢れるライフスタイルを提案しています。今後もさまざまな日常の生活シーンの中に、花と緑のある生活文化を創造していきます。